

情報通信セミナー「ローカル5Gが育む北陸の新時代」を開催

総務省北陸総合通信局（局長 小津 敦）は、令和4年7月6日（水）、北陸情報通信協議会（会長 金井 豊）との共催により、情報通信セミナー「ローカル5Gが育む北陸の新時代」をZoomによるオンライン配信で開催し、延べ105名が参加しました。

“北陸地域が抱える諸課題の解決に対し、ローカル5Gをどのように利活用できるのか”をテーマとした本セミナーでは総務省の令和3年度「課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」の中から、林業分野及び交通分野の実証事業実施団体の方々を講師とし開催しました。

冒頭、小津局長の挨拶の後、先ず、「ローカル5Gを活用した山間部林業現場での生産性向上及び安全性向上のための実用化モデル検証」と題し、となみ衛星通信テレビ株式会社 業務部 部長 浅谷 一寛氏及び株式会社島田木材 代表取締役社長 島田 優平氏から日本初となるローカル5Gを活用した林業分野の取組について講演がありました。

ICTやIoT導入が遅れている林業分野での生産性向上や危険な作業が多い現場での安全性向上のため、山林におけるローカル5Gエリア構築のためのバルーン反射板（注）やフォワーダー（丸太運搬作業車両）遠隔運転などの実証結果の説明がありました。

続いて、「ローカル5Gを活用した遠隔型自動運転バス社会実装事業」と題し、一般社団法人ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構（TOPIC） 代表理事 小林 寛史氏及び前橋市 未来創造部 交通政策課 地域交通推進室 主任 宮本 雄太氏から群馬県前橋市において先進的に取り組まれている、ローカル5Gを活用した遠隔型自動運転バスの実運用について講演がありました。

前橋市では乗合バスの運転手不足解決のため、平成30年度から自動運転バスの実証実験を続けており、令和3年度で実施した公道（前橋駅～中央前橋駅1 km）での複数車両によるローカル5Gを活用した遠隔管制、遠隔操作・操縦等の説明がありました。

また、各講演後にはオンライン参加者から質問が相次ぎ寄せられ、関心や期待の高さが伺えました。

本セミナーを通じて、ローカル5G活用による地域課題解決に向けた取組について、参加者の理解を深めることができました。



となみ衛星通信テレビ株式会社
浅谷 一寛氏



株式会社島田木材 島田 優平氏



一般社団法人ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構 小林 寛史氏



前橋市 宮本 雄太氏
(前橋市からオンラインによる講演)

(注)山林上空に反射板を設置した気球を上げ基地局からの電波を山中の端末機器に向け届けるシステム